

市報

ちぐまや



<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>



koho@city.yamaguchi.lg.jp



山口市の主な出来事 P.2
 「チャレンジ！」
 おおいた国体「視察報告」 P.3
 学校給食調理業務の民間委託 P.3



2008 **12.1**
 December
 No.76

最新の情報芸術を世界に発信!

開館5周年
 山口情報芸術
 センター (説明は15ページ)





山口情報芸術センター入館400万人目となった佐藤さん親子に、花束を手渡す市長(10月9日)

平成20年 山口市の主な出来事

「市総合計画」の初年度に当たり「新しいまちづくり」に向け始動する年」平成20年。
主な出来事を振り返ってみましょう。

1月
■市民公共交通の日(21日) ■江崎東地区コミュニティタクシー「みんなでGO」運行開始式(28日)

2月
■宮野地区コミュニティタクシー運行開始式(1日) ■秋穂コミュニティタクシー「菜の花号」運行開始式(6日) ■最果タヒさんの「グッドモーニング」の第13回中原中也賞受賞決定(16日) ■県立大学と包括的連携・協力協定を締結(19日) ■小鯖地区コミュニティタクシー運行開始式(25日)

3月
■「インターネット公売」を開始(4日) ■市初の有料広告掲載紙「市くらしのベネフィット2008」を発行(15日) ■韓国公州市親善交流訪問団が市長を表敬訪問(19日) ■「市民間化推進実行計画」を策定(24日) ■「市電子自治体構築計画」を策定(24日) ■「洞春寺鐘樓門」(管内の芝居幕)大村益次郎関係資料」を市指定文化財に指定(24日) ■阿東町からの合併協議申し入れに回答(28日) ■「市耐震改修促進計画」を策定(28日)

4月
■養護老人ホーム福寿園が民設民営化で開設(1日) ■阿知須「いぐらの館」(旧中川家住宅)の公開を開始(1日) ■「市環境方針」を策定(9日) ■市報4月15日号から有料広告を掲載 ■「香山公園前観光案内所」がオープン(16日) ■「第19回全国『みどりの愛護』のつどい」を

開催(19日) ■「市生涯学習基本計画」を策定(28日)

5月
■「第1回山口・阿東広域県央中核都市研究会」を開催(23日) ■中国済南市友好教育考察団が市長を表敬訪問(26日) ■市小郡文化資料館が入館者20万人達成(30日) ■「ふるさとやまぐち寄付金」を開設(23日) ■「市中山間地域づくり指針」を策定(26日)

6月
■「市川西浄水センター」が供用開始(1日) ■三笠産業(株)が山口テクノパーク新事業所建設協定に調印(2日) ■「市不燃物中間処理センター」が稼働(2日) ■「吉敷つどいの広場(楽楽)」オープン(10日) ■山口総合支所で「緑のカーテン」植栽式(11日) ■「第1回文化振興ビジョン検討懇話会」を開催(27日)

7月
■「おいでませ山口」デスティネーションキャンペーンが開催(1日)~9月30日) ■「山口国体市実行委員会第1回総会」を開催(9日) ■阿知須のきらら浜が平成27年の「第23回世界スカウトジャズンポリ」開催地に決定(17日)

8月
■姉妹都市締結15周年を記念し、韓国公州市の訪問団が来山(4~7日) ■芦森工業(株)が山口テクノパーク進出協定に調印(8日) ■「市地球温暖化対策

地域協議会「温暖化とめるつちやネットワーク やまぐち」を設立(18日) ■「市住宅マスタープラン」を策定(18日) ■「山口・小郡都市核づくりマスタープラン」を策定(22日)

9月
■山口国体開催決定記念イベント「体感！バレーボール教室」開催(23日) ■中原中也記念館が入館者50万人達成(25日) ■「市協働のまちづくり市民会議」が「(仮称)市協働のまちづくり条例素案」に関する提言書を提出(29日)

10月
■佐山・阿知須で「コミュニティタクシー」が運行を開始するなど、市南部地域の交通体系を再編(1日) ■3歳未満児の医療費助成の所得制限を撤廃(1日) ■「第17回全国山頭火フォーラムinやまぐち」を開催(4~5日) ■山口情報芸術センターの県内初の公共建築賞(国土交通大臣表彰)受賞決定(7日) ■山口情報芸術センターが入館者400万人達成(9日) ■初めて市内全20地域・地区で「移動市長室」を開催(29日)~11月18日

11月
■山口情報芸術センター開館5周年記念式典(1日) ■吉敷・大歳地区の一部で住居表示を実施(1日) ■小郡図書館が開館(3日) ■「第7回山口市・公州市親善交流サッカー大会」を開催(9日) ■山口情報芸術センターの県内初の「JAFRAアワード(総務大臣賞)受賞決定(21日)



「チャレンジ！おおいた国体」視察報告

平成23年開催の「おいでませ！山口国体」の参考とするため、大分県で開催された「チャレンジ！おおいた国体」を5人の市民公募モニターと視察しました。9月28日に中津市を訪問し、競技会場、市民の活動、民泊を視察し、中でも市民総参加による「花いっぱい運動」や民泊などの状況を報告します。

■問い合わせ 市国体推進局 (☎083-984-8120)



市民
モニターの
感想・意見
(抜粋)



まち中で、花いっぱいのお出迎え



特産の大鍋による、おもてなし



休憩所では、詰め替え用ボトルを販売



民泊実施先での説明会



中津駅での案内ボランティア



中津駅に飾られた、大会マスコット

■花いっぱい運動

- ・プランターには、シンプルでよく見えるシールを貼ること。
- ・間伐材を利用したプランターに、花を飾りたい。
- ・会場近くの田んぼに、ひまわりが植えてあった。

■歓迎、P R

- ・会場受付で手芸品などを配り、地元をP Rしていた。
- ・おもてなしは選手向けで、観戦に来る人向きではなかった。

■環境(エコ)対策

- ・使い捨て紙コップの代わりに、詰め替え用のボトルを販売していた。

■民泊

- ・民泊の実施が「地域の団結力に結びついた」との話もあった。

■ボランティア

- ・「選手の応援から会場運営、民泊といったあらゆる場面で市民の誰もが国体に参加できる」と感じた。
- ・「やらされる」ではなく「やりたい」と思ってもらえる取り組みへ。

■意識啓発

- ・まずは「市民一人ひとりに『おいでませ！山口国体』を知ってもらうことが必要だ」と感じた。

平成21年度から、市民総参加運動の一環として取り組む「地域花いっぱい運動」に、積極的にご参加ください。

学校給食調理業務の民間委託 民間委託の先進校視察の様子と食育の取り組み

平成21年度をめぐりに予定している学校給食調理業務の民間委託の実施について、市報10月1日号からお伝えしています。今回は、学校給食調理業務の民間委託の先進地北九州市への視察の様子と食育の取り組みについて、お伝えします。

■問い合わせ 市教育総務課 (☎083-934-2859)

●民間委託の先進校を視察しました

10月30日、民間委託の実施予定校の保護者のみなさんと、昨年4月から民間委託により学校給食を提供している北九州市立槻田(つきた)小学校を訪問し、調理場や給食時間の様子を見学しました。民間委託の経緯やその後の学校運営、児童への指導について説明を受けた後、民間委託の効果や課題などについて、みなさんからさまざまな質問が出ました。本市と給食の内容が異なっている部分はあるものの、北九州市では、委託後も円滑に給食が運営されているとのことでした。



槻田小学校の視察の様子

●食育の取り組み

子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、健康な心身と豊かな人間性を育む上で、食育は重要な役割を担っています。学校給食調理業務の民間委託実施後も、これまでと同様に学校給食を活用した食育に取り組みます。

■学校での取り組み

現在、学校給食を活用した食育について、各学校で「食に関する指導の全体計画」の策定を進めており、家庭科・社会科など、さまざまな教科や学校行事の中でも食育指導を行っています。民間委託の実施後も、学校と受託業者が連携し、積極的に食育に取り組みます。

■学校給食でのアレルギー対応

対象者の保護者や担任教諭・養護教諭・学校栄養職員等が個別に協議し、アレルギーの原因となる食材を取り除いた給食などを提供しています。民間委託の実施後も、これまでと同様に、児童・生徒の状況に応じ対応します。

■地産地消の推進

生産者や納入業者の協力を得ながら、各学校で学校給食の使用基準に合った食材を調達しています。民間委託の実施後も、学校が献立を作成し、地元の納入業者から地場産の新鮮な食材を調達の上、安心・安全なおいしい給食を提供します。

③-2 職員手当の状況(特殊勤務手当・時間外勤務手当)

区分	山口市	
特殊勤務手当	支給総額	88,388千円
	支給対象職員1人当たり平均支給年額	146千円
	職員全体に占める手当支給職員の割合	39.8%
※ 税務事務従事手当、環境衛生業務手当、福祉事務手当など19種類があります。		
時間外勤務手当	支給総額	309,339千円
	職員1人当たり平均支給年額	203千円

④ 一般行政職のラスパイレース指数※の状況

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
103.1	100.9	101.0	101.6	101.6

※ 国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準。
平成17年度以前は、合併前の旧山口市の状況を記載しています。

(4) 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

① 勤務時間等について

【勤務時間】

8時30分～17時15分

【休憩時間】

12時15分～13時(45分間)

【週休日】

土・日曜

【休日】

「国民の祝日に関する法律」に規定する休日と年末年始(12月29日から翌年の1月3日まで)

※ 交代制勤務の職場などは、上記と異なる場合があります。

② 休暇制度等について

【年次有給休暇】

1年につき20日間を付与。新規採用職員は15日間を付与。

【病気休暇】

負傷や疾病のため療養する必要があり、勤務しないことややむを得ないと認められる場合の休暇。公務による負傷・疾病、結核性疾患に該当する場合は1年、私傷病に該当する場合は90日を与えることができます。

【特別休暇】

結婚、出産、忌引など、特別の理由により勤務しないことが相当である場合の休暇。

【育児休業】

職員は3歳に満たない子を養育するため、3歳に達する日まで、休業することができます。



(5) 職員の分限・懲戒処分の状況

「分限処分」は公務の能率の維持を目的とした処分で、「懲戒処分」は職員が一定の義務違反を行った場合に責任を問うための制裁的処分です。

① 分限処分者数 (単位：人)

処分	人数	具体的事由
免職	0	
降任	0	
休職	15	心身の故障のため(15件)
降級	0	
合計	15	

② 懲戒処分者数 (単位：人)

処分	服務違反関係	道路交通法違反	合計
免職	1	0	1
停職	1	1	2
減給	0	0	0
戒告	0	7	7
合計	2	8	10

※ 公務外の行為に対する処分を含む。

(6) 職員の服務の状況

地方公務員法の規定により、次のような職務上の義務があります。

- ・ 法令等および上司の職務上の命令に従う義務
- ・ 信用失墜行為の禁止
- ・ 秘密を守る義務
- ・ 職務に専念する義務
- ・ 政治的行為の制限
- ・ 争議行為等の禁止
- ・ 営利企業等への従事制限



(7) 職員研修と勤務成績の評定の状況

① 職員研修について

地方分権の進展による新たな業務に対応し、住民サービスを向上させるため、職員が個々の能力を一層高める必要があります。

【一般研修】

一般職員や係長級などの各階層で要求される能力を修得するため、対象全職員に実施した研修。

受講者：延べ241人(10コース)

【特別研修】

地方分権に対応し経営能力向上を目指すマネジメント研修、政策形成研修、接遇研修など、広く市政全般に目を向けて実施した研修。

受講者：延べ638人(8コース)

【派遣研修】

高度な専門知識の習得、組織を支える専門家「スペシャリスト」の育成などを重視し派遣した研修。

受講者：延べ175人(80コース)

② 人事評価システムについて

平成19年度から、一部運用を開始しました。今後も、公務の効果的・効率的な運営を確保するため、職員の能力を最大限に活用できるよう、その構築・運用に努めます。

(8) 職員の福祉と利益の保護の状況

① 安全衛生管理体制の状況

「労働安全衛生法」「市職員健康管理規程」等の規定に基づき、安全衛生委員会と衛生委員会を設置し、快適な作業環境の整備、職員の安全と健康の確保などの労働安全衛生管理に努めています。また毎月1回、産業医による健康相談・ストレスケア相談事業を実施しています。

② 福利厚生事業の状況

「地方公務員法」の規定に基づき、職員の元気回復のための事業等を計画的に実施するため「山口市等職員共済会」を設置しています。平成19年度に運営を全面的に見直し、毎月の職員の会費(給料の1,000分の2、計約1,300万円)を財源に各種給付事業を、市からの交付金(約700万円)を財源に文化・体育行事等への助成を行っています。

③ 公務災害補償の状況

加入団体	公務災害	通勤災害	計
地方公務員災害補償基金山口県支部	8件	3件	11件

(9) 公平委員会の業務の状況

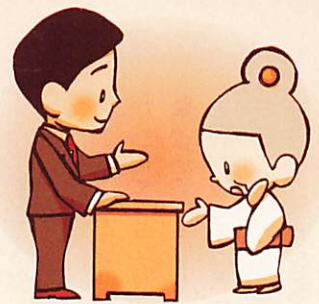
① 勤務条件に関する措置の要求の状況

実績なし

② 不利益処分に関する不服申し立ての状況

実績なし

平成19年度の 人事行政の運営等の状況報告



職員の任用、職員数、給与、勤務時間その他の勤務条件など、平成19年度の人事行政の運営等の状況を公表します。これは、市の人事行政運営における公正性、透明性を高めるため「地方公務員法」「市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき公表するものです。

■問い合わせ 市職員課 (☎083-934-2727)

(1) 職員の任免と職員数に関する状況

① 採用・退職者数

(単位:人)

時 点	行政事務等	土 木	保健師	保育士・ 幼稚園教諭	消 防	文化財 主事	建 築	環境衛生 整備員	給食調理 員等	その他※	合 計	【参考】 再任用職員
18年度退職者数	28	2	0	8	4	0	0	7	3	0	52	12
19年度採用者数	0	0	4	7	8	0	0	0	0	0	19	14
増減数	▲28	▲2	4	▲1	4	0	0	▲7	▲3	0	▲33	2

② 職員数

(単位:人)

時 点	行政事務等	土 木	保健師	保育士・ 幼稚園教諭	消 防	文化財 主事	建 築	環境衛生 整備員	給食調理 員等	その他※	合 計	【参考】 再任用職員
平成18年4月1日	981	153	39	145	179	6	28	103	87	20	1,741	21
平成19年4月1日	953	151	43	144	183	6	28	96	84	20	1,708	23
増減数	▲28	▲2	4	▲1	4	0	0	▲7	▲3	0	▲33	2

※介護福祉士、電気、水質管理等の職種

(2) 職員の競争試験と選考の状況(平成19年度実施 平成20年4月1日採用)

(単位:人)

試験区分	試験職種	採用予定人数	応募者数	一次試験		二次試験		内定者数	採用者数
				受験者数	合格者数	受験者数	合格者数		
大学卒業程度	行 政	7人程度	236	138	22	17	10	10	10
	土 木	2人程度	15	8	6	4	4	4	4
	消 防	8人程度	96	63	20	15	10	10	10
高校卒業程度	行 政	3人程度	46	38	15	14	5	5	5
	消 防	10人程度	179	150	28	19	10	5	5
専門職	保育士・幼稚園教諭	7人程度	61	55	14	12	7	6	6
	保健師	2人程度	22	18	7	6	3	3	3

(3) 職員の給与の状況

① 人件費の状況(平成19年度普通会計決算)

住民基本台帳人口(平成20年3月31日現在)	歳出額(A)	実 質 収支額	人件費(B)	人件費率(B/A)
人 187,420	千円 63,137,912	千円 630,699	千円 13,866,574	% 22.0

※人件費には、特別職に支給する給料・報酬を含みます。

② 職員給与費の状況(平成19年度普通会計決算)

職員数(A)	給 与 費				1人当たり給与費(B/A)
	給 料	職員手当	期末手当 勤勉手当	給与費計(B)	
人 1,524	千円 5,894,794	千円 1,183,337	千円 2,365,629	千円 9,443,760	千円 6,197

※職員手当には、児童手当と退職手当は含みません。職員数は、平成19年4月1日現在の人数です。

③-1 職員手当の状況

区 分	山 口 市	国
期末手当 勤勉手当 (19年度支給割合)	期末手当…3.0月分 (1.6月分) 勤勉手当…1.50月分 (0.75月分) 職制上の段階、職務の級等による加算措置…有 ()内は、再任用短時間勤務職員に係る支給割合です。	同左
退職手当 (支給率)	自己都合 勤続20年 23.50月分 勤続25年 33.50月分 勤続35年 47.50月分 最高限度額 59.28月分 【その他加算措置】 ・定年前早期退職特例措置 2~20%加算	同左 勧奨・定年 30.55月分 41.34月分 59.28月分 59.28月分
扶養手当	配偶者 13,000円 配偶者以外の扶養親族 6,500円 配偶者がいない場合(1人まで) 11,000円 満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子 1人につき5,000円加算	同左
住居手当	借 家…3,000円~27,000円 自 宅…3,000円(新築5年間までは4,500円) その他…3,000円	借家(家賃12,000円以上)…最高27,000円まで 自宅…2,500円(新築5年間のみ)
通勤手当	交通機関支給限度…65,000円 交通用具…片道60kmを上限に24区分し、1,000円~38,500円を支給	交通機関支給限度…55,000円 交通用具…片道2~60kmを13区分し、2,000円~24,500円を支給

市政トピックス

「山口情報芸術センター開館5周年記念式典」を開催

11月1日、山口情報芸術センターが開館5周年を迎え、記念式典を開催しました。

同センターは、市の芸術文化の交流発信拠点として、最新の情報芸術作品を世界



5周年記念式典の様子

に発信するとともに、地域に密着したワークショップの開催など、次代を担う子どもたちの感性や創造性を育む事業に取り組んできました。また10月9日に入館者400万人を達成するなど、市民の憩いの場としても広く親しまれています。

式典に臨み、市長は今後の抱負を「市内外で高い評価を受けている本施設が、今後も市民のみなさんに愛され、誇りとなるよう努めます」と語りました。

市文化政策課

(☎0833・934・2717)

山口情報芸術センターが

「公共建築賞(国交大臣表彰)」を受賞

11月11日、山口情報芸術センターが、県内では初となる第11回公共建築賞(国土交通大臣表彰)を受賞しました。

公共建築賞は、公共建築の水準向上のため、隔年で総合的に優れた施設を表彰するもので、今回は平成12年4月から16年3月の間に竣工した施設を対象としています。

同センターは、展示スペース、劇場、ミニシアター、図書館を併設する複合施設で、周囲を取り囲む優雅な山並み

「移動市長室」を開催しました

10月29日から11月18日の間、初めて市内全20地域・地区を対象に、総合支所などで「移動市長室」を開催しました。

今回は合併後の3年間を振り返りながら、財政の健全化とまちづくりへの取り組み、阿



移動市長室の様子(秋穂総合支所)

東町と進めている「山口・阿東広域央中核都市研究会」の取り組みを市長が報告し、直接市民のみなさんから、意見や質問を伺いました。

11月5日の秋穂総合支所では、地域への若者の定住、農地の保全、地域の生活環境などについて、多くの熱心な意見が寄せられました。

みなさんの貴重なご意見は、今後の市政運営に反映させます。

市広報広聴課

(☎0833・934・2884)

「小郡図書館」が開館しました

11月3日、市南部地域の拠点館となる「小郡図書館」が開館しました。

同館は、鉄筋コンクリート2階建て、延床面積約2000㎡で、約13万冊を収納できる館内に、絵本の読み聞かせや紙芝居を行う「おはなしのへや」や畳の「和室読書コーナー」などを備えています。

開館式典で市長は「この図書館が本と人、人と人が出会い交流する『地域を支える情報の拠点』となるよう、期待しています」と述べました。

今後、市立図書館の基本理念「どんな時も、身近に役立つ、あなたの図書館」を目指し、地域とともに成長する図書館として、市民のみなさんに喜ばれるサービスの充実に努めていきます。

小郡図書館

(☎0833・973・0099)



開館式典の様子



「第3回山口・阿東広域県央中核都市研究会」を開催

10月24日「第3回山口・阿東広域県央中核都市研究会」を開催しました。

今回は、第2回研究会で出た「山口・阿東広域県央中核都市ビジョン(中間報告)」の実現の具体性という課題に、新たに「関係機関・民間企業との調整協議を踏まえた総括」「ビジョン実現に向けたプロジェクト」「財政の方向性(財源的な裏付け)」を加え、協議・意見交換を行いました。

「関係機関・民間企業との調整・協議を踏まえた総括」では、約20団体との協議・調整を経て、地域内で生産される第一次産品の「安定的な供給体制の構築」「市場(マーケット)における価格競争力の強化」「圏域内における付加価値の推進」の3点の必要性を整理しました。

「山口市・公州市親善交流サッカー大会訪問団」が来山

今年、姉妹都市締結15周年を迎えた

韓国公州市からの、8月の記念訪問団に続き、11月9日の親善交流サッカー大会のため、訪問団が来山しました。



市長と訪問団

今回となるこの大会は、スポーツを通じて市民・職員同士の親交を深め、両市の交流を一層深めたいとの熱い思いにより続けられています。

大会終了後には、両市の選手らによる歓迎会が開催されました。

翌10日、訪問団は市長を表敬訪問し、今後、両市の市民が主体となった多彩な分野での交流の輪を広げていくことを、誓い合いました。

市国際交流室

☎0833-9334-2725

これを踏まえ、ビジョンの実現、さらには地域循環型経済の構築に向けて「山口・小郡両都市核」の機能強化、中山間地域での農林業の振興、新産業の創出などの各種プロジェクトが示されました。

そしてビジョンの実現に向けた財源の見込みを測る「財政シミュレーション」を行い、合併による職員の削減、特別職・議員の人件費の削減、普通交付税により、平成22年度から31年度までの10年間で、約33億円の新たな財源を確保できる見込みが示され、確認しました。

詳細は、市ホームページ(表紙参照)をご覧ください。

市中核都市推進室

☎0833-9334-2746

ご覧ください

山口市の広報番組

12月の放送予定です



2コーナーで構成。人やまちの魅力を紹介する、市民参加型の情報番組です。

山口ケーブルビジョン (12チャンネル)

■「このまちに愛たい」「infoやまぐち」番組表

曜日	12/1(月) ~15(月) ①	12/16(火) ~31(水) ②
月・水 金・日	7:35 *12:25 18:05 *22:10	7:35 12:05 18:05 21:50
火・木 土	*7:55 12:05 *18:25 21:50	

※「infoやまぐち」のみの放送(10分)

「このまちに愛たい」(20分)

- 1 人ーひと
中野雅恵さん～ 山口に生きる
- 2 湯田温泉街や
山口情報芸術センターで
アートに触れよう

「infoやまぐち」(10分)

1週間更新で、市からのお知らせを放映



市政のPRから地域情報まで、生活に身近な話題を幅広くお届けします。

山口朝日放送 (YAB)

毎週水曜 13時55分から4分間放送

3・10日 新たな地域の魅力を発見!
「湯田 アートプロジェクト」

17・24日 「歴史シリーズ」

私たちのまち



主に市政情報や市からのお知らせを分かりやすくお伝えする番組です。

テレビ山口 (TYS)

毎週日曜 11時40分から4分間放送

7・14・21日 「湯田 アートプロジェクト」

○番組の感想をお寄せください

〒753-8650 山口市亀山町 2-1
市広報聴課あて
☎koho@city.yamaguchi.lg.jp

井原英夫さん

徳地在住



今年9月、市内で初めて国土緑化推進機構から森や山に関する仕事で優れた技を持ち、模範となる達人「森の名手・名人」に選ばれた井原英夫さん。50年にわたる椎茸生産技術の研鑽や森林教育、後継者育成への取り組みが認められた井原さんに、お話を伺いました。

●「森の名手・名人」に選ばれていかがですか？
認定書を手にした時は、責任の重さを感じました。同時に、これまで自然を相手に苦労や失敗を乗り越え、椎茸の



妻 啓子さんと二人三脚で椎茸を作って50年

●椎茸作りの始まりは？
昭和31年に結婚し、夫婦で椎茸作りを始めました。当時地域では木炭作りが主流で、とても珍しがられました。昭和35年には仲間と「船路産業振興会」を設立、昭和37年には「徳地町椎茸生産協議会」を発足し、会長として地域の椎茸栽培技術の普及に努めました。椎茸を作り始めて、今年で50年になります。

生産一筋に精魂込めて続けてきて、本当に良かったと思います。

●椎茸は見事、徳地の名産になりましたね。

いい椎茸を作ろうと努力を惜しまず技術を磨いてきた、生産者たちの熱意のたまものです。水も空気も澄み渡り、山には椎茸の原木であるクヌギやナラが豊富な恵まれた環境で、夫婦や家族、そして仲間が親睦を深めながら切磋琢磨して頑張った結果でしょう。自然食ブームで生産が追いつかないほどの人気となり、喜びもひとしおです。



高品質・高収量の生産技術を確立した椎茸を栽培する人工ほだ場

●後継者の育成にも励まれているとか。

昭和62年に八坂小学校で、生物の観察や花壇の手入れを通して自然に親しむ「緑の少年隊」を立ち上げました。「森林体験学習」では、3・4年生に種菌の打ち込み

「森林体験学習」で椎茸作りを学ぶ八坂小の子どもたち(右)とお礼状(下)



など椎茸作りの実習体験を行っています。将来、子どもたちが都会へ行っても、ふるさとの大自然を舞台に思いっきり学べたことを誇りに思っしてほしいですね。

●これからの抱負は？

命につながる食べ物を生産する者として、これからも消費者に安心・安全な椎茸を届けていきたいです。さらに栽培の技術を普及・指導し、活力ある元気な若い人たちを育て、みんなとの和を大切にしながら、ふるさと徳地を守っていききたいですね。

さぼらんてマンスリーサロン～十人十色の出会いの場～

- 日時 12月13日(土)10時～15時 ●場所 さぼらんて
- 内容 ○講座「Bangladeshを知ろう！話そう！
～Bangladeshの恋愛観と結婚」(13時～15時 参加費300円)
- チベット映画上映(10時30分、14時20分)
- フェアトレード※・ファッションショー(13時)
- パネル展示、Bangladeshの写真展、フェアトレードの紹介、本の紹介、チャイの販売など、盛りだくさん！

※フェアトレード…産地の環境や文化を尊重し、生産者と対等な関係で行う貿易

- 参加団体
アステアステ～Bangladeshを知る国際協力の会～、
アムネスティ山口、NPO法人ひつじの会、
フェアトレード・ネットワーク山口
- 山口商工会議所青年部による
「2Lペットボトルで巨大クリスマスツリー
を作ろう！」(13時～15時)も同時開催
家庭で不要になった2Lのペットボトルを、
洗ってお持ちください。



「大内っ子まもり隊の会」の活動の様子



子どもと園児の交流



老人と子どものふれあい

「豊かな心と確かな学力をもち、たくましく生きる大内南っ子の育成」を学校目標に、779人の子もたちが元気に学ぶ大内南小学校。

地域との連携も活発で、1年生は折り紙やお手玉、おはじきなどの昔遊び、3年生は火起こしや湯たんぽ、石臼などの昔の道具を使った体験活動、5年生は保護者と一緒にしめ縄作りを、大内老人クラブ連合会のみなさんから教わっています。また近くの県農林総合技術センターで、5年生が田植えや稲刈りの体験を通じ、農業の役割や食への意識を高める活動も、22年目を迎えます。その稲をわらにし、しめ縄に使ったり、1年生はお年寄りから習った昔遊びを地域の園児に教えたりと、活動の輪はどんどん広がっています。

今回、児童の登下校を見守る「大内っ子まもり隊の会」が、文部科学大臣から「学校安全ボランティア活動奨励賞」を受けることが決定しました。これからも大内っ子は、美しい田畑が広がる問田川沿いを舞台に、温かい地域に包まれてのびのびと成長します。

自慢!

わがまち
by 大内南小

大内南校区にある、
有名な2つの
お地蔵さんを
紹介します。

えんこう地蔵

問田の光厳寺（ひかりげんじ）の山門にありますが、「えんこう」とは河童のことです。次のような伝説が残っています。

【伝説】

昔、問田川に河童がいて、子どもや村人を川へ引つ張り込む悪さばかりしていました。ある日、馬を引き込みもうとして頭をけられ、村人に捕まってしまう。村人たちは殺そうとしましたが、しきりに命乞いをするので、地蔵様を建て、地蔵様の尻が腐るまでは川から出てはならぬと放してやりました。それ以来、河童は姿を現さないといわれています。

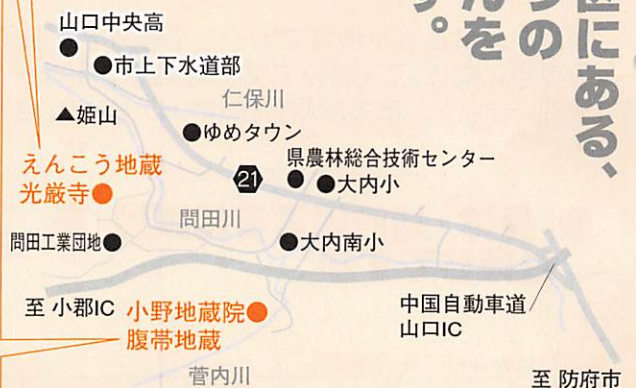


山口を元気にする人や
グループの情報を
お寄せください!

腹帯地蔵



小野の地蔵院の本尊で、昔から「小野の地蔵様」と里人に親しまれています。俗に「子安地蔵」とも呼ばれ、安産のため遠近から多くの人が参拝します。裏山の湧き水は、母乳の出ない人によく効くと伝えられています。



企画編集 NPO法人ゆにーく
☎090-7128-16018
☎083-989-4193
✉3nogast@s-plan.net



さぼらんで情報

市民活動支援センター さぼらんで
道場門前一丁目2-19

☎ 083-901-1166 FAX 083-901-1165

☑ <http://www.saporant.jp/>

フリーマーケット&犬・猫の譲渡会 主催 よつばの会
●12月7日(日)10時~15時 犬猫の飼い方などの相談にも応じます。

ビーズはあなビーズ体験教室&作品販売 主催 NPO法人ラブコミュニティーライフ
●12月14日(日)10時~16時

しっぽ道場 主催 肉球生活向上委員会 With Wan
●12月14日(日)10時~12時 ペットと暮らしたい方への飼育アドバイスやしつけ相談など

チャレンジショップ 主催 NPO法人ヒューマンスペースきらきら銀魚
●12月18日(木)、19日(金)10時~16時 エコなアクリルたわしや個性的なポストカード等の販売

お知らせ

- 山口総合支所 〒753・8650 亀山町2-1 ☎0833-922-4111
- 小郡総合支所 〒754・8511 小郡下郷609-1 ☎0833-973-2411
- 秋穂総合支所 〒754・1192 秋穂東6570 ☎0833-984-2121
- 阿知須総合支所 〒754・1292 阿知須2743 ☎0836-654-1111
- 徳地総合支所 〒747・0292 徳地堀1744 ☎0835-521-1112

都市計画下水道の区域を拡大する案の縦覧

「山口市公共下水道」の排水区域を拡大する案を縦覧します。期間中に限り、市へ意見書を提出できます。

縦覧期間 12月2日(火)～16日(火)
 所申問 市下水道建設課(宮島町7-1) ☎0833-9333-6999

地上デジタル放送への移行に係る詐欺に注意

平成23年7月24日から、テレビ放送は、地上デジタル放送(以下 地デジ)へ完全移行します。そのためアナログテレビを使っていらっしゃる方は、地デジ対応のものに替える必要があります。

最近、テレビ局職員などを名乗り、身に覚えのない地デジ対応やアンテナ交換などの工事費等を請求する詐欺が発生しています。総務省やテレビ局等

は、地デジ対応に関するごで代金を請求しません。このような請求を受けたときは、ご相談ください。

総務省中国総合通信局 ☎0822-222-3429、最寄りの警察署、市消費生活センター ☎0833-933-4717

「山口田園朝市フリーマーケット」出店者募集

県下最大規模の年末朝市に、出店してみませんか。詳細は、お問い合わせください。(雨天決行)

日時 12月28日(日) 8時～15時
 定員 200組程度(先着順)
 参加費 トラック一台分のスペース当たり1000円(当日集金)

所申問 12月10日(水)までに、山口南総合センター(名田島1-21-8-1) ☎0833-972-8333 FAX083-9972-4777

12月3日～9日は「障害者週間」 誰もが安心して暮らせる 住みよいまちを目指して

障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の実現に向け、ご理解・ご協力をお願いします。
 ◆問い合わせ 市高齢障害課 ☎083-934-2794

●「障がい者専用駐車場」の利用にご協力を

市役所やショッピングセンターなどの駐車場には「車いすマーク」が表示された「障がい者専用駐車場」があります。これは、車いすを利用している方や障がいのある方が、施設への出入りや車の乗り降りをしやすいよう配慮されたものです。趣旨を理解の上、障がいのない方は、一般の駐車場を利用しましょう。

●「身体・知的障害者相談員」をご存じですか

市では、障がいのある方やその家族から、修学や就業など、さまざまな相談を受け、地域での活動の手助けとなるよう「身体障害者相談員」「知的障害者相談員」を委嘱しています。お近くの相談員に、気軽にご相談ください。

■身体障害者相談員(敬称略)

氏名	地区	電話番号	氏名	地区	電話番号	氏名	地区	電話番号
番屋元生	仁保中郷	083-929-0306	田中絹代	錦町	083-925-0183	古谷光政	江崎	083-989-3293
伊坂敏子	大内矢田	083-927-6767	丸山耕治	楠木町	083-925-6018	井藤泰子	小郡下郷	083-972-0368
石永礼子	宮野下	083-925-0130	井藤美盛	吉田	083-925-3513	高木和文		083-972-0640
原田益治		083-923-9315	伊藤忠	朝田	083-932-6279	山根良夫	083-973-2305	
藤本トモエ	白石二丁目	083-922-4511	大庭晴子		083-932-6855	林房江	秋穂東	083-984-2011
堅田雅子	朝倉町	083-932-4320	開地美涼	秋穂二島	083-987-2487	中尾佐多彦	阿知須	0836-65-2152
小万豊		083-925-5317	福増満	江崎	083-989-5146	井上昇	徳地藤木	0835-54-0381

■知的障害者相談員(敬称略)

氏名	地区	電話番号	氏名	地区	電話番号	氏名	地区	電話番号
岡山久代	下小鯖	083-927-2791	国本敏江	小郡下郷	083-972-7529	青木潔	阿知須	0836-65-2874
藤井欽也	宮野下	083-925-4716	江村三和子	秋穂東	083-984-2583	岡村利子	徳地野谷	0835-56-0017
山藤美男	中央五丁目	083-924-1033						



調査した結果をお知らせします。

アースくん

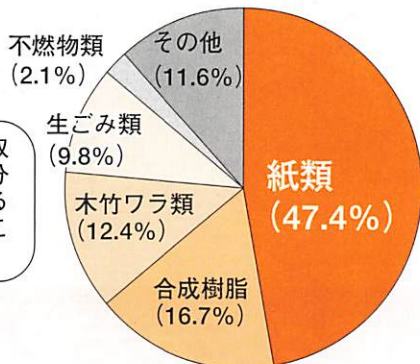
清掃工場に入る ごみを調査しています

山口・小郡・秋穂地域と阿東町の燃やせるごみを焼却している市清掃工場では、搬入物に「紙ごみ」などの資源にできるものや燃やせないごみが混入していないかを調査しています。今回は、その結果をお知らせします。

■問い合わせ 市環境施設課(☎083-941-2188)

●年間30,000tの「紙ごみ」を焼いています

平成19年度、市清掃工場に持ち込まれた燃やせるごみの量は64,020t、大型パッカー車で25,600台分にもなります。その中でも、リサイクルすれば資源になる「紙ごみ」が50%近くを占め、約30,000tが資源化されずに焼却されています。



リサイクルに取り組めば、半分程度の燃やせるごみを減らすことができるね。



■平成19年度に、市清掃工場に持ち込まれたごみの構成比

●燃やせないごみの混入は焼却炉の寿命が縮みます

下の写真は、市清掃工場に持ち込まれた燃やせるごみの中に入っていた車のバンパーです。このような一部の心ない事業者による自動車の部品や鉄板、針金などの持ち込みが、焼却炉の寿命を縮める主な原因となっています。最近では、燃やせないごみを布に包むなど、持ち込み方も悪質になってきています。このため指導を強化し、違反を繰り返す事業者には、ごみの持ち込み停止や事業者名等の公表を考えています。



市清掃工場に持ち込まれた燃やせるごみに混入していた車のバンパー

正しくごみを分別して、焼却炉の負担を軽くしようね。



●事業者からの紙ごみの持ち込みを制限しています

紙ごみの資源化を進めるため、市では4月から、事業者からの書類やダンボール等のごみの市清掃工場への持ち込みを制限しています。個人情報を含む機密文書やシュレッダー処理をした紙ごみも、持ち込みを制限しています。

持ち込みを制限している紙類

新聞・チラシ・雑誌、使用済みコピー・OA用紙、シュレッダー紙、紙箱、封筒、段ボール、機密文書

持ち込みができる紙類

使用済みティッシュペーパーなどの紙くず、写真、ビニールコート紙、油紙、青焼紙、感熱紙、カーボン紙、紙コップ、紙皿
※異物等が付着した紙類等も、持ち込みできません。

ごみの分別とリサイクルにご協力ください

市のごみ焼却施設は、市清掃工場しかありません。施設を少しでも長く使用できるよう、家庭や事業者で、資源化によるごみの減量や正しい処理に取り組んでいきましょう。

事業者も、市リサイクルプラザ(大内御堀489-8)への資源物の持ち込みは、無料です。



【重点目標】高齢者の交通事故防止／全(すべ)ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底／飲酒運転の根絶／自転車の安全利用の推進

■問い合わせ 市生活安全課(☎083-934-2765)

省エネ電球取替促進 キャンペーン

「地球温暖化防止月間」の12月、県では、白熱電球に比べ省電力で寿命の長い「電球形蛍光灯」の使用を呼び掛けています。

家庭や事業所で省エネ電球に切り替え、二酸化炭素の排出削減に取り組んでみませんか。

☎ 市環境保全課

(☎083-941-2181)

高齢者を対象とした合同就職面接会を開催

■日時 12月10日(水) 13時40分～15時
(30分前から受け付け)

■場所 県婦人教育文化会館(湯田温泉五丁目1-1)

■対象 60歳代前半の求職中の方

■持参品 履歴書

☎ ハローワーク山口(山口公共職業安定所) ☎083-922-0043

「海外たすけあい義援金」 にご協力を

紛争や災害に苦しむ海外の人々に援助の手を差し伸べる「NHK海外たすけあい」を、12月25日(木)まで実施します。寄せられた義援金は、自然災害や

紛争などの犠牲者への緊急救援、発展途上国の赤十字社が行う保健衛生・災害対策などに役立てられます。

■受付窓口 郵便局、取扱表示のある金融機関、農業協同組合、NHK山口放送局(中園町2-1)、日本赤十字社山口県支部血液センター(野田1-7-2・5)、山口赤十字病院(八幡馬場53-1)

☎ 日本赤十字社山口県支部

(☎083-922-0102)

三和児童館 クリスマス会

【スマイルポケット「クリスマス会」】

■日時 12月19日(金) 10時30分～12時

■内容 パネルシアター、会食、サンタさんからのプレゼントなど

■対象 幼児と保護者30組(先着順)

■参加費 300円

■申込期限 12月12日(金)

【児童館「クリスマス会」】

■日時 12月22日(月) 13時30分～16時30分

■内容 マジックショー、キャンドルサービス、プレゼント交換など

■対象 小学生30人(先着順)

■参加費 500円

■申込期限 12月15日(月)

◆いづれも

■所申 参加費を持参の上、三和児童館(三和町3-3 ☎083-922-7055)

生ごみ処理機・処理容器を使ってみませんか？

市では、家庭用の生ごみ処理機・処理容器の購入費用の一部を補助しています。

◆使用効果のポイント！

- ①台所が清潔で衛生的に
台所に生ごみを置く時間が短くなるため、生ごみ特有のにおいの発生が少なく衛生的です。
- ②ごみの減量化
ごみの減量につながります。
- ③ごみ出しの負担が軽減
水分の多い生ごみが減り、ごみ袋が軽くなります。
- ④家庭菜園などの堆肥に
処理後にできた堆肥は、家庭菜園等で活用できます。

◆「電動生ごみ処理機」「生ごみ処理容器」の補助内容

【電動生ごみ処理機】



購入費の2分の1(上限2万円)、1世帯につき1台まで

【生ごみ処理容器】

コンポスト型 微生物分解型



購入費の2分の1(上限2,500円)、1世帯につき2個まで

■申し込み・問い合わせ 備え付けの様式に領収書(販売店、購入価格、メーカー名、機種の名前)を添付の上、市ごみ対策課(〒753-0214大内御堀496 ☎083-941-2186)

※様式は、市南部衛生課(小郡総合支所内)、各総合支所・出張所にも備え付け。市ホームページ(表紙参照)からも入手可

環境に優しい暮らしを身近から



ごみステーションから ごみや資源物を持ち去る ことはできません

■市ごみ対策課(☎083-941-2185)

- 自治会などのごみステーションに出された資源物等を、一部の心ない業者が大量に持ち去る事態が発生したことから、市では条例で、ごみステーションに出された資源物等を市の所有物とし、無断で持ち去ることを禁止しました。
- ごみステーションで持ち去り行為を発見しても、相手に直接声を掛けたりしないでください。

市民の健康と福祉の増進に向けた各計画への

みなさんの意見を募集します

市では、今年度策定中の次の計画に市民のみなさんの意見を反映させるため、パブリックコメント(意見募集)を実施します。意見の内容と検討結果は、個人情報を除き市ホームページ(表紙参照)で公表します。



分かりにくいものや匿名の意見には、市の考え方を示しません。また個々の意見に、直接の回答は行いません。

■ **閲覧場所** 各担当課、山口総合支所福祉総合相談窓口、各総合支所市政情報コーナー
※市ホームページでも閲覧可

■ **提出方法** 12月1日(月)~平成21年1月5日(月)の間に、〒住所、氏名を明記し、各計画への意見を添付の上、各担当課

地域で支え合うために

「市地域福祉計画」 「山口市地域福祉活動計画」

「市地域福祉計画」は、少子高齢化や地域のつながりの希薄化が問題となる中、「地域全体で支え合う地域社会」を実現するための計画です。今回は、山口市社会福祉協議会の「山口市地域福祉活動計画」と連携・協力し、中間案をまとめました。

基本方針を「ともに支え合い誰もが心豊かに暮らすための地域社会づくり」とし、基本目標に「自立支援と社会参加による支え合いの仕組みづくり」「安全安心して生活できる地域づくり」「総合的な福祉サービスの向上」の3つを掲げています。市民・地域・関係団体・社会福祉協議会・行政等が互いに連携を図りながら、地域福祉の推進に取り組みます。

■ **提出先・問い合わせ**

市社会課(山口総合支所 ☎083-934-2790 FAX083-934-5087

✉ shakai@city.yamaguchi.lg.jp)

健やかに安心して生活
できるまちに向けて

健康で豊かな食生活
を営むために

「市健康づくり計画」「市食育推進計画」

両計画は、市民・関係団体・行政が協力して取り組むものです。

「市健康づくり計画」は、生活習慣病の増加と急速な高齢化社会の進展により、市民の健康づくりへの関心が著しく高まる中、「市民が自分らしく健やかに安心して生活できるまち」を目指した計画です。

「市食育推進計画」は、生活様式や価値観が多様化し、食生活の乱れや生活習慣病の増加など、さまざまな「食」に関する問題が懸念される中、「市民が生涯にわたり健康で豊かな食生活を営むことができること」を目指した計画です。

■ **提出先・問い合わせ**

市健康増進課(〒753-0079糸米二丁目6-6
市保健センター ☎083-921-2666 FAX083-925-2214

✉ kenko@city.yamaguchi.lg.jp)

安心して子育てできるまちに向けて

「市次世代育成支援行動計画」

「市次世代育成支援行動計画」は、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、市が今後取り組むべき次世代育成支援のための目標や方向性を示すものです。現行の前期計画を見直し、平成26年度を目標年次とする後期計画を定めるため、このたび中間案をまとめました。

この計画は、前期計画の「親と子が心やすらぐ子育てを地域で支えるまちづくり」を基本理念とし、施策方針として「すべての子どもの幸せが守られるまちづくり」「次代を担う人づくり」「仕事と家庭が両立でき安心して子育てができる環境づくり」「すべての子育て家庭を支える仕組みづくり」「安心して子育てができる環境づくり」の5つを掲げ、次世代育成支援対策の充実に一層取り組むものです。

■ **提出先・問い合わせ**

市児童家庭課(山口総合支所 ☎083-934-2797 FAX083-934-2648

✉ jido@city.yamaguchi.lg.jp)

互いをたたえた 真剣勝負

姉妹都市韓国^{ソウル}公州市から35人の選手団を迎え「第7回山口市・公州市親善交流サッカー大会」が山口市南総合センターで行われました。両市の市民・市職員同士で和やかに握手を交わした後の試合は、真剣そのもの。激しい競り合いが繰り広げられる度、観客から盛んな掛け声が上がっていました。(11月9日)



阿知須の元気を発信中!

「あじすふれあいまつり」「あじす街角ぎゃらリー」が阿知須駅周辺と阿知須商店街で開催され、約1万6,000人の人出でにぎわいました。ステージでの、元気いっばいの子もたちの踊りや力強い太鼓の演奏などに、訪れた人たちは足を止め見入っていました。(11月9日)

木登りで森の恵みを満喫!

11月の森林セラピーイベントとして長者ヶ原エリアの森で、「ロープで木登り」がありました。参加した子ども連れ約60組は、晴天の秋空の下、専門のロッククライマーの指導で木登りを楽しみました。(11月15日)



山口市市民特派員 まちかど レポート

10・11月の主なできごと
イベントや季節の風景など、市民特派員から寄せられたまちの話題を掲載します!
ただいま市民特派員募集中!
■問い合わせ 市広報広聴課
(☎083-934-2753)



みんなで体操 そろってるね

11月2、3日に行われた「おごおり文化祭」で、俳句や盆栽、茶道、ダンスなどの小郡公民館の活動団体が、日ごろの成果を披露しました。ステージで発表された「3B体操」では、会場のみなさんも一緒に体操の楽しさを体感していました。(11月3日)





秋穂出身の、昭和30年第59回ポストマンランの覇者 故濱村秀雄氏の偉業をたたえ、毎年この時期に行われる「浜村杯秋穂ロードレース大会」。今年も総勢618人の若男女が、明け方までの雨が上がりきれいに晴れわたった秋の秋穂路を、さわやかに駆け抜けていきました。(11月16日)



掘ったよ！採ったよ！

大内地区で、幼稚園のサツマイモ掘り体験が行われました。「ねえ！見て見て、イモ掘ったよ！」あちらこちらから元気良く、園児たちがカメラマンのすそを引っ張ってきます。カメラを向けて「ハイポーズ」。帰りの園児たちの手はサツマイモでいっぱい、カメラマンのスポンは手形がいっぱいでした。(10月27日)



バイバイまた会う日まで

車えびの養殖など「えびの町」として知られる秋穂で、その恵みに感謝し豊漁を祈願する「えび供養祭」が行われました。車えびの放流に参加した黒湯保育園の園児たちは、初めて触るえびに戸惑いながらも「大きくなってまた会おうね」と優しい声で再会を誓っていました。(10月22日)



表紙写真から

「山口情報芸術センター」



今年で開館5周年目を迎えた、市の芸術文化の交流発信拠点「山口情報芸術センター」。11月1日から始まった記念事業の

一つ「ミニマムイーターフェーズ展

(平成21年2月28日まで)では、触れることで、音や映像、造形がさまざまに変化する芸術作品を楽しめます。展示の「CC Lounge Spaces.01」では、近付いたり手を叩いたりすると、動きや光で反応する様に、子どもたちが「なんだろう？」と興味津々の様子でした。

この日訪れた家族連れは「いつも休日には、館内を利用しています。子どもと一緒にくつろげる、親しみやすい空間がありますね」と語りました。

周囲の山並みと調和した外観を持つ憩いの場所は、未来を担う子どもたちを育む施設として、これからも成長し続けます。

■開館時間 10時～20時

■休館日 火曜(祝日の場合は翌日)、祝日、年末年始

■場所・問い合わせ

中園町7-7 ☎0833-901122

☎Information@ycam.jp

イベントカレンダー 12月

※開催場所・時間など詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号)
1 (月)	ゆたアートプロジェクト YUDA ART PROJECT (~12月27日) (山口) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222)
2 (火)	「ミニマムインターフェース」展 (~平成21年2月8日) (山口) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222)
3 (水)	ふれあいパーク大原湖 ウィンターイルミネーションフェア (~平成21年2月28日) (徳地) 大原湖キャンプ場 (☎0835-58-0200)
4 (木)	日本のクリスマスは山口から イルミネーション(~25日) (山口) 山口商工会議所(☎083-925-2300)
5 (金)	きららイルミネーション (~27日) (阿知須) 実行委員会 (☎0836-65-6903)
6 (土)	ミニ展示「あたたまる」 (~平成21年2月28日) (小郡) 市小郡文化資料館 (☎083-973-7071)
7 (日)	山口考古学フォーラム巡回展 「やまぐち復元~古墳時代の食卓~」 (~21日) (小郡) 市小郡文化資料館 (☎083-973-7071)
8 (月)	菜香亭市民ギャラリー プロジェクト ミック Project "Nick" (~8日) (山口) 市菜香亭 (☎083-934-3312)

5 (金)	ツアーパフォーマンス 「山口市営P」(~7日) (山口) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222)
7 (日)	おかあさんコーラス演奏会 (山口) 市民会館 (☎083-923-1000)
14 (日)	ロバの音楽座 チェンバロコンサート (山口) C・S赤れんが (☎083-928-6666)
18 (木)	ヘルシーウォーキングと 岸見の石風呂体験 (徳地) 市林業振興課(☎0835-52-1122)
20 (土)	あじす AJISU 駅伝大会 実行委員会 (☎0836-65-2022)
23 (火・祝)	菜香亭市民ギャラリー クジラが魚でない理由 (~23日) (山口) 市菜香亭 (☎083-934-3312)

20 (土)	Op∞(オーパスアンフィニティ) (~21日) (山口) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222)
21 (日)	日本のクリスマスは山口から まちじゅうフェスティバル (山口) 山口商工会議所(☎083-925-2300)
22 (月)	クリスマス会 (山口) 三和児童館 (☎083-922-7055)
23 (火・祝)	市人権ふれあいフェスティバル (山口) 市人権推進課 (☎083-934-2867)
27 (土)	ファンタジークリスマスinきらら (阿知須) 実行委員会 (☎0836-65-6903)
28 (日)	あいお道の駅まつり (秋穂) 秋穂産業振興協会 (☎083-984-2738)
28 (日)	山口田園朝市フリーマーケット (山口) 実行委員会 (☎083-972-8333)

2009年の幕開け
元旦は初日を見よう!

こゝろみね 鴻の峰新春登山
◇集合 木戸公園前広場に6時10分
※全行程約5.5km
◇問い合わせ 市スポーツ振興課(☎083-934-2874)

あまごいやま 元旦登山(雨乞山)
◇集合 小郡公民館前に6時10分
◇内容 山頂での年頭式など
◇問い合わせ 小郡公民館(☎083-973-0638)

もんじゆだけ 初日にちかう会(文殊岳)
◇集合 文殊岳入口駐車場に6時30分
◇内容 豚汁・おしるこの振る舞いなど
◇問い合わせ 串公民館(☎0835-54-0222)

ろくじょういわ 六畳岩で初日の出を迎えよう!
◇集合 現地集合
※黒谷池の堤防上に駐車してください。
◇問い合わせ 引野同志会(☎0836-65-3762)

くさやま あいお荘や草山からの眺めもオススメ!
◇問い合わせ 秋穂総合支所自治振興課(☎083-984-8021)

山口市長 渡辺純心

これまで、市総合計画の策定をはじめ、多くの方から市政への意見等をいただき、また事業に携わる職員たちと幾度となく議論し、試行錯誤を重ねてきました。

参加のみなさんからは、膝をつき合わせたからこそ得られた、たくさんの方の率直なご意見を伺いました。賛同、指摘、提案、指導など、すべてが私自身の財産となっています。

それらは、多くの課題を乗り越えながら、まちづくりを進める上で、今後もものにも勝る私の原動力となっています。



10月29日から11月18日の間、初めて市内全20地域・地区を対象に、移動市長室を開催しました。これは、できるだけ多くの会場で、時間の許す限り市民のみなさんと対話したいという思いからでした。

会場では、今後の厳しい財政状況の中で、まちづくりの大きな方向性としての「県全体をけん引できる都市づくり」とともに、子育て支援、生活交通の充実、官民協働による「生活しやすいまちづくり」を進めている現状を説明しました。